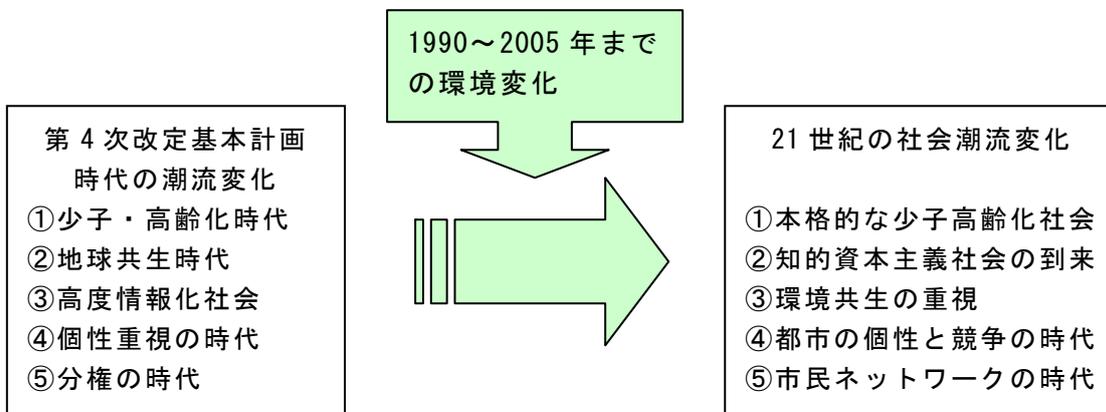


生活を取り巻く社会潮流変化

社会潮流変化を捉える視点



前基本計画の社会潮流認識		1990年～2005年の変化の内容
① 少子・高齢社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年頃に超高齢社会 ・ 都市部における顕在化 ・ 生活システムの創造 ・ 多様な居住ニーズへの対応と高齢者に配慮したまちづくり ・ 高齢者の社会参加への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の加速化（推計見直しの繰り返し） ・ 介護保険制度導入による行政、市民の意識の変化 ・ 少子化の深刻化と対応の本格化 ・ 社会保障制度改革の認識の高まり
② 地球共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮したまちづくり ・ 省エネ社会 ・ 企業の社会的責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境意識の高まり ・ 産業廃棄物問題の深刻化 ・ リサイクルの推進
③ 高度情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界と24時間直結した通信基盤の整備 ・ 都市全体の高度情報化 ・ 情報交流拠点づくり ・ 個人情報の保護、安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット、携帯電話の社会への浸透
④ 個性重視の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとりある豊かな生活を楽しむことの出来る社会の到来 ・ 人々の価値観や生活様式の高度化、多様化 ・ 余暇活動への志向の高まり ・ 快適な都市環境の創造や文化的雰囲気醸成 ・ 新しい生活文化が生まれ発信される都市づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バブルの崩壊、デフレの促進 ・ 将来不安の高まり ・ 雇用流動化、失業率の増加 ・ 震災を契機とするボランティア、NPO活動の拡大 ・ 生涯学習、スポーツ熱の高まり
⑤ 分権の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分権に対応した自律したまちづくり ・ 市民による市民のためのまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な市民活動の活発化 ・ 地方分権の進展と広域化

宇都宮市を取り巻く 21 世紀の社会潮流変化

総合計画 21 における 21 世紀の社会潮流変化		1990～2000 年の変化の内容
① 少子・高齢社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年頃に超高齢社会 ・ 都市部における顕在化 ・ 生活システムの創造 ・ 多様な居住ニーズへの対応と高齢者に配慮したまちづくり ・ 高齢者の社会参加への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の加速化（推計見直しの繰り返し） ・ 介護保険制度導入による行政、市民の意識の変化 ・ 少子化の深刻化と対応の本格化 ・ 社会保障制度改革の認識の高まり
② 地球共生社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮したまちづくり ・ 省エネ社会 ・ 企業の社会的責任 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境意識の高まり ・ 産業廃棄物問題の深刻化 ・ リサイクルの推進
③ 高度情報社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界と 24 時間直結した通信基盤の整備 ・ 都市全体の高度情報化 ・ 情報交流拠点づくり ・ 個人情報保護、安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット、携帯電話の社会への浸透
④ 個性重視の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとりある豊かな生活を楽しむことの出来る社会の到来 ・ 人々の価値観や生活様式の高度化、多様化 ・ 余暇活動への志向の高まり ・ 快適な都市環境の創造や文化的雰囲気醸成 ・ 新しい生活文化が生まれ発信される都市づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バブルの崩壊、デフレの促進 ・ 将来不安の高まり ・ 雇用流動化、失業率の増加 ・ 震災を契機とするボランティア、NPO 活動の拡大 ・ 生涯学習、スポーツ熱の高まり
⑤ 分権の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分権に対応した自律したまちづくり ・ 市民による市民のためのまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な市民活動の活発化 ・ 地方分権の進展と広域化

21 世紀の社会潮流変化		
	概要	わが国全体の変化の方向性
① 少子高齢社会の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後初めての人口減少を経験し、高齢者が人口の 1/3～1/4 を占める時代となる。特に 75 才以上の後期高齢者の増加が顕著となる。 ・ 制度改革が急ピッチで進むとともに、高齢者に対するサービス、商品の市場が拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急速な高齢化の進展と戦後初めての人口減 ・ 社会負担の増大 ・ 高齢者に対する新たなサービス需要の拡大
② 知的資本社会の到来	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル競争社会下で、技術を基盤として知識に価値を置きその価値を高め、国の国際競争力を高めることが重視される。 ・ 研究開発、新商品開発、人材育成が重要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界に通用する人材育成の重要性の高まり ・ 産学連携による技術開発、製品開発の進展 ・ 知的財産権の一層の重視 ・ IT の社会への浸透
③ 環境共生の重視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境温暖化問題がますます悪化し、生態系への悪影響が強く懸念されることから、先進国としての環境対策が迫られる。循環型社会構築に向けて、天然素材の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減されることが重視される。 ・ 環境問題に対する市民の意識も高まり、省エネなどの環境保全行動が広がっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策の強化 ・ 自動車の排ガス規制の強化とエコカー開発の激化 ・ 3R（発生、再使用、再生利用） ・ 環境規制の強化と企業の対応の進展 ・ 環境保全活動への参加意識の高まり
④ 地域の個性と競争の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が各地域で進み、各地域が人口減少に直面する。しかし、地域別の実質性産学は、拡大する地域と縮小する地域に分かれる。 ・ アジアにおける地域間競争が激化し、従来アジア太平洋地域の拠点であった東京、大阪などの日本の都市の地位が保てなくなる可能性がある。 ・ 地域の個性の外部発信が人口増加に重要な要因となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業者一人あたり生産額の地域間格差の拡大 ・ アジアをめぐる地域間競争の激化、日本の都市の地位の低下 ・ 人口の都心回帰 ・ 人口増加地域と減少地域の二極化 ・ 価値観の多様化と地域の個性化 ・ シティ・プロモーションの重要性の高まり
⑤ 元気な市民ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ わが国の経済の低迷が続くなかで、戦後の雇用形態が崩壊し、転職が一般化する。社会格差が拡大し、都市における社会問題が顕在化する。 ・ 女性や高齢者の社会参加は拡大する。 ・ 仕事だけでなく、ボランティア、NPO 活動、文化・スポーツ・余暇活動、地域コミュニティ活動などで、自己実現を図ろうとする市民が増大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人意識の多様化と個人化の進展 ・ 雇用流動化の拡大 ・ 女性や高齢者の社会参加の拡大 ・ 所得格差の拡大 ・ 余暇時間の拡大 ・ ボランティア、NPO 活動の活発化 ・ 自己防衛意識の高まり